

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和 4 年度エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	燃料電池フォークリフト導入実証事業
補助事業者名	富山県
補助事業の概要	脱炭素社会構築につながる水素の利活用を推進するため、燃料電池フォークリフトの試験導入の実施や、水素エネルギー利活用に関するセミナーを開催する。
総事業費	5,500,000 円
補助金充当額	5,500,000 円
定量的目標	○燃料電池フォークリフト試験導入 ・試験導入企業：10 社程度 ・本格導入企業：1 社以上 ○セミナー開催 ・セミナー参加者数：100 名程度 ・水素エネルギーに関連する新製品・新技術研究開発実施企業：1 社以上 ・水素関連製品の導入企業：5 社以上
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	・燃料電池フォークリフトの試験導入では、県内企業 10 社に対して 1 週間試験導入を行い、実際に燃料電池フォークリフトを体験していただくことで、県内ものづくり現場への活用に向けたコスト等の経済的課題、管理上の課題、水素供給に係る課題等を把握できた。 ・水素エネルギー利活用に関するセミナーでは、燃料電池フォークリフトの講演のほか、試乗会、水素充填デモンストレーション等を行い、水素エネルギーや燃料電池フォークリフトへの理解を深めることができた。（120 名参加） ・燃料電池フォークリフトは、導入時のイニシャルコスト（フォークリフト本体に加え、水素充填に係るインフラ設備の整備に関する費用）のほか、導入後におけるランニングコスト（燃料水素代、設備維持費）も高額であり、コスト面の課題が大きいことが確認できたので、今後、燃料電池フォークリフトの導入経費の補助制度を設けるなど経済的コストの軽減を図ることで、普及拡大につなげていきたい。

補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約  (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約（間接補助）の目的	燃料電池フォークリフト導入実証事業に係る業務の実施
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方（間接補助先）	一般社団法人富山水素エネルギー促進協議会
	契約金額（間接補助金額）	5,500,000円
来年度以降の事業見通し		

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。